

今月の題字



熊野第二小学校 6年 村井 功武 さん



熊野第二小学校 2年 餅川 魁仁 くん

【評】「ざいりょうからひらめき」という題材で、色々な材料の形や色・感触から、自分が何を表したいかをイメージして作ることができました。白い不織布や色紙でプレゼントを表現し、それが空から降ってくる楽しくて不思議な世界を表しています。

熊野第二小学校 4年 宮岡 美楽 さん



【評】左右の部分ができている漢字の組み立て方を理解し、形を整え、筆にリズムとダイナミックな流れがある表現が素晴らしいと思います。

熊野の自然 (373)  
アオギリ (アオイ科)



青桐の名は緑色の樹皮と桐に似た葉から付きました。自生は沖繩など。街路樹などとして植えられ、暖地では逸出します。熊野では、貴船の西部地域健康センターの東に野生化しています。落葉高木で幹は直立。枝は太く、粗く枝を分けます。大木の樹皮は灰白色です。葉は大きく、掌状に3裂または5裂し、基部は深い心形です。鋸歯はありません。葉柄が長く互生し、枝先に集まって付いています。花期は6〜7月。枝先に大型の円錐花序を数本出し、帯黄色の小さな花を多数つけます。雄花と雌花が雑居しています。花弁はなく、細長い萼片が5個あります。冬芽や若葉、花序などに

星状毛が密生しています。

花後、子房は縦に(4〜)5個に分離し、分果は熟す前に裂開します。長さ6〜10cmの舟形の果皮の縁に、直径6〜8mmの丸い種子が付いています。種子は果皮に付いたまま、風や水に運ばれる構造になっています。種子には白い胚乳があり、炒って食べたり、コーヒの代用に使ったりしました。

樹皮から作った縄は水に強く、内皮から採る粘状物質は紙漉きの糊に使えます。葉を水に挿しておいたら、粘状物質が確認できました。漢名は梧桐。中国で秋を代表する木ですが、日本では夏の季語とされています。

【写真・文】  
緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー  
●陶芸展X

時10月11日(日)〜10月24日(土)  
伊勢崎淳や金重晃介らの備前焼などを展示します



●なお、「仿古堂創業120年企画展Ⅱ」(志功、桑鳩、鷗亭ら)は、10月10日(土)まで引き続き開催しております。ぜひご来場ください。

熊野町観光案内所「筆の駅」  
熊野町出来庭10・6・24  
☎855・1123 (いいふみ)  
開10時〜16時  
(各展示の最終日は15時閉場)  
休水曜日・第3日曜日  
※無料  
※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

熊野町公式アカウント  
facebook  
LINE  
子育て支援情報アカウントこどもでりん  
熊野町観光大使でりん 公式アカウント  
facebook  
LINE  
熊野町観光大使でりん 公式アカウント  
防災無線放送再生ダイヤル  
082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。